



春、別れの季節：

この3月で任期満了を迎える3人の

集落支援員が、活動を振り返り、

皆さんに最後のあいさつをします。

多ノ郷 岩佐集落支援員

「多ノ郷地区の人たちに地域に愛着を持ってもらいたい。自分自身も愛着を持ちたい」という思いから始まった多ノ郷地区集落支援員の活動は、3月で2年8カ月が経ちました。

当初は課題の難しさに直面し、苦悩する日々もありましたが、



その都度地域活動をされている方々に支えられてきました。そして、多ノ郷小学校保護者で集った「みたらいいシスターZOO」のメンバーと、多ノ郷小学校図書室の環境整備を行うことができました。

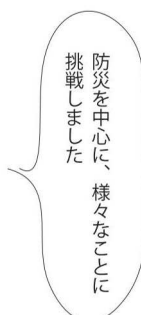
この活動を一緒にしてきたメンバーと「できるヒトが、できるトキに、できるコト!」を、4月から地域に戻り実行していけたらと思います。多ノ郷地区の皆様、本当にありがとうございました。

須崎 松下集落支援員

私は、平成24年7月に須崎地区の集落支援員として公民館に配置されました。防災を中心に、地域に関わった仕事をしたかったから、「地区に根ざした防災づくりと町の活性化を目指して!」をテーマに活動をしてきました。

防災以外にも、集落支援員全員で企画して、婚活イベントも2回開催することができました。手さぐりでの企画でしたが、募集を上回る方が参加してくださり、多くの恋のきっかけづくりができたのではと思っています。

そのほか、須崎地区活性化プロジェクト・須崎地区社会福祉協議会の立ち上げや、町内の活性化に向けて地元商店街が開催するイベントの手伝いなどもさせていただきました。



約3年間、防災を中心に様々な活動に参加させていただきました。たくさんの方々を支えていただき、活動することができました。皆さん、本当にありがとうございました。

浦ノ内 山本集落支援員

住みよい浦ノ内を目指して取り組みました



浦ノ内の支援員として配属されたとき、「最初に浦ノ内の課題はなんだろう?」と考えることから始めました。

地域の方から話を聞くと、車の運転ができないと浦ノ内は住みづらいという声が出てきました。何とか解消して浦ノ内に住みたいという人が増えないかと考え、いろいろと活動をしてき

ました。最近になって、解消に向けての話合いが進んでいます。私の任期中には解消できませんでしたが、住みよい浦ノ内になるように地域の方が考えてくださるようになってきました。浦ノ内には、青壮年の会「り

ぐる浦ノ内」があります。活動が活発で、年々浦ノ内の知名度も上がってきました。浦ノ内の地域活性化に向けての頼もしい存在です。私も微力ながら参加をさせてもらいましたが、この活動の輪がどんどん広がってほしいと思います。

最後にお世話になった地域の皆さん。本当にありがとうございました。私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。

岩佐さん、松下さん、山本さん、集落支援員としての活動、お疲れさまでした。

元気創造課 元気創造係

042・3951